

リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立寺井中学校（石川県）【指定校】

【取組内容①】 個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した見方・考え方を育む授業

スライド

- ・教科のクラスルームを作成し、授業で使ったスライドを掲示。自由に閲覧ができるようにしている。より発展的な問題に取り組みたい生徒や復習したい生徒など生徒のレベルに応じた追加問題を設定し、解答は各自スライドで確認するようになっている。授業外の時間にも取り組んだり見返したりしている。
- ・長文を読む際のヒントスライドの提示
- ・スライドの共同編集
- ・一人ひとりが課題解決にあたるようにヒントカードの掲示

- ・自分の課題や振り返りを共有のスプレッドシートに入力する。
- ・スプレッドシートで自分の作業の進捗状況を示す。
- ・進捗確認シートを用いて、自分のニーズに応じて適切に他者参照できるようにする。
- ・生徒たちが活動するスライドやスプレッドシートのリンクを貼ることにより、容易に他者参照をしながら学べるようにスプレッドシートでの単元マップの作製する。

スプレッドシート

デジタルホワイトボードソフト

- ・共同編集場面で同一ボードで各自作成し、他者参照しながら進める授業
- ・各グループに分かれて、探究学習を実施した。調べた内容をボードに貼り他者参照しながら効果的に学習を進めた。
- ・実験のデータをボードで共有することで、協働的な学びにつなげる。
- ・自分の考えを投稿して内容を踏まえて話し合いをする。

授業での見取りだけでなく、個人の進度や興味に合わせて、発展的な問題や振り返りができる良さが端末の利活用にある。また、自らの学習状況を可視化することで、つまづきや課題の発見、他者と比較することで自分にはない良さを知る機会になり、新たな対話のきっかけにもなる。ノートをとることに積極的になれない生徒も、端末ならば取り組むことができ、振り返りなどの記入量も多くなる。慣れないうちは時間がかかるが、慣れるにつれどの授業でも活用する姿が見られた。

考察